

生徒指導の充実

【現状と課題】

いじめや暴力行為等の問題行動、インターネット・携帯電話の普及に伴う新たな課題に、学校、家庭、地域、関係機関等が連携して対応することが必要です。

「平成19年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査(文部科学省)」によると、本県公立学校における暴力行為は141件(小2件,中34件,高105件),いじめは835件(小329件,中399件,高105件,特2件),不登校児童生徒は2,328人(小272人,中1,369人,高687人)となっています。

いじめについては、人権に関わる重大な問題ととらえ、一件でも多く発見し、一件でも多く解決するという基本的認識に立つとともに、問題行動の早期発見、早期対応のために、学校、家庭、地域、関係機関等との連携を一層推進することが必要です。

不登校児童生徒の学校復帰に向けて、一人一人の様々な実態に応じた支援を行うために、学校、家庭、関係機関等との連携した取組を一層充実することが必要です。

【これからの施策の方向性】

生徒指導に関する教職員の資質向上に努めます。

学校の生徒指導体制を確立し、全教職員が一体となった生徒指導に努めます。

スクールカウンセラー配置事業やいじめ問題等相談員派遣事業、「かごしま教育ホットライン24」など総合的な相談体制の充実に努めます。

学校、家庭、地域、関係機関等の連携を促進します。

市町村教育委員会の生徒指導に関する機能強化への支援に努めます。

【主な取組】

生徒指導に関する研修の内容の充実を図り、不登校や問題行動の未然防止、早期解決が図られるよう、教職員の指導力の向上に取り組めます。

管理職のリーダーシップの下で、生徒指導主任等を中心とした全教職員による組織的な指導体制を確立し、心に届く生徒指導を推進します。

不登校や不登校傾向の児童生徒については、各学校において個別支援計画を作成するとともに保護者や関係機関と連携した個別指導、家庭訪問を行うことなどにより、児童生徒の学校復帰に向けて、個に応じた組織的・継続的な支援に努めます。

いじめ、不登校など各学校の実態に即したスクールカウンセラー等の配置や「かごしま教育ホットライン24」による電話相談を実施するとともに、市町村独自の相談事業と連携し、総合的な相談体制の充実に取り組めます。

「かごしま児童生徒健全育成サポート制度」の充実を図り、警察との連携強化に努めるとともに、福祉機関等との連携の在り方の実践的研究を推進します。